

「歡樂春節」

中国剪紙文化展

剪紙で見る春節の楽しさ

2018.1.24 wed. — 2.2 fri.

休館日／土日祝休館

観覧料／無料

開館時間／10:30～17:30（初日は14:00から、最終日は13:00まで）

講演会／2018年1月24日（水）14:00～15:20

開幕式／2018年1月24日（水）15:30～

申し込みは、中国文化センターのHPのイベント案内一覧ページ
(<https://www.ccctok.com/event/>)よりお願いします。

主催:



中国文化センター

東京

P A S N E T



天台山民俗博物館
Tiantai Museum

後援: 中華人民共和国駐日本国大使館文化部 (公社)日本中国友好協会 日中友好議員連盟 (公財)日中友好会館 日本きりえ協会 (一社)東京華僑総会 おもちゃ王国
博方投資(杭州) 奇柯集团 瑞松科技 中国緑色環境促進会(珠海) World Good Design 協賛: 青島ビール

楽しく中国の春節の雰囲気味わってください

—— 王超鷹氏による講演会と剪紙教室



講演会 | 2018年1月24日(水) 14:00～15:20 / 定員80名
テーマ: 吉祥文化 剪紙にこめられた意味 使用言語: 日本語

剪紙教室 | 2018年1月25日(木) 15:00～17:00 / 定員30名
制作に関わる道具は全て当方でご用意しますので手ぶらでご参加下さい。
自作品は勿論のこと、参加者にはプレゼントもご用意しています。

※参加無料。申し込みは、中国文化センターのHPのイベント案内一覧ページよりお願いします。
<https://www.ccctok.com/event/>

王超鷹 (おう ちょうよう) 文化研究者、剪紙伝統工芸師

■主な経歴: 1958年中国上海市生まれ。中国伝統工芸の優秀な子供として選抜され、英才教育を受ける。1972年に上海工芸美術公司に入社。1987年に来日し、武蔵野美術大学大学院造形学修士号を獲得。45年以上にわたり伝統工芸、美術、デザインの研究と実践を続け、象形文字の造形に関する研究も各界から高い評価を得ている。また、アリババグループなど有名企業のCIやロゴデザインも手掛けた。

■主な著作・日本出版

著 書: 『殉情物語』(技術評論社)、『トンパ文字』、『新楷書体』など漢字書体集シリーズ、『篆刻文字』シリーズ、『篆刻人名字典』、『象形文字の遊び』(マル社)など 日本語版漢字ソフト開発: 『筆文字』(NEC社1992、富士通ソフト社1993)、『大文字』(Aa社1990)など



中国文化センター
CHINA CULTURAL CENTER

東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル1F

Tel: 03-6402-8168

Fax: 03-6402-8169

E-Mail: info@ccctok.com

<https://www.ccctok.com>

- 日比谷線「神谷町」駅4a番出口より徒歩5分
- 銀座線「虎ノ門」駅2番出口より徒歩7分



剪紙で見る春節の楽しさ

春節といえば、中国では一年で一番大きなイベントです。春節前には多くの人が力を入れて年越しのための準備や飾りつけをします。その飾りの中でも「剪紙」は絶対に欠かさないものと考えられています。剪紙の一枚一枚には中国の歴史や物語、風習や逸話などが秘められています。その隠れた背景をわかりやすく紹介するため、文化研究者であり剪紙伝統工芸師でもある王超鷹氏のコレクション(中国各地の剪紙)と彼の新作を展示します。そして展示のみにとどまらず、王超鷹氏による講演会を催し、剪紙のバックグラウンドについて解説します。新しい表現を含む千点以上の剪紙を展示することは、日本で初めてといえます。さらに日本の切り絵と中国の剪紙を比べながら見れば、戊年の春節はもつと面白い時間になるのではないのでしょうか。

